

教科		英語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	学年	2	単位数	5
類型		共通 ・ 文系 ・ 理系			履修規程	必修 ・ 選択		
学習の到達目標					使用する主な教材			
・ 聞いたり読んだりして、情報や考えなどについて話し合い、結論をまとめることができる。 ・ 速読をしたり精読をするなど、目的に応じた読み方をすることができる。 ・ 未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用しながら読むことができる。					Power On Communication English Ⅱ (東京書籍) Power On Communication English Ⅱ Work Book 【Grammar Based】 (東京書籍)			
期	月	配当時間	学習内容		学習の具体的内容とねらい			
第一学期	4	14	・ Lesson 1 "What Do You Eat with?" ・ Lesson 2 "Wrapping Culture"		・ ナイフ、フォーク、箸の歴史を学び、食文化について考える。 ・ 包装における文化の違いを学ぶ。 ・ 関係副詞、分詞構文の定着を図る。 ・ 形式目的語を用いた文を理解させる。			
	5	1	中間考査					
	6	22	・ Lesson 3 "A story about Yaku-Sugi Cedars" ・ Lesson 4 "Interview with Anyango"		・ 屋久杉の自然と歴史・世界初のニャティティ奏者になった向山さんの挑戦を読み、自分自身について見つめる機会をもつ・倒置を用いた表現、It seems that S+V、完了不定詞を理解させる。			
		1	期末考査					
	7	6	・ Lesson 5 "Vegetable Factories"		・ 野菜工場という新しい農業の現状を認識し今後のあり方を考える。 ・ 関係代名詞what、譲歩を表す副詞節を理解させる。			
第二学期	8	4	・ Lesson 5 上同様		・ 進行形の受け身、未来完了形の定着を図る。			
	9	23	・ Lesson 6 The Power of Color ・ 時制の総復習		・ 色が人間心理に及ぼす影響を学ぶ。 ・ 使役動詞を理解させる。 ・ proposeなど that S+V(=動詞の原形)。 ・ 時制全般の復習を行った後、実践問題に挑戦することで、入試に通用する実力を養成する。			
	10	1	中間考査					
	11	22	・ Lesson 7 What Is Going on in Tuvalu? ・ Lesson 8 Humpback Whales		・ 太平洋上の小国、ツバルについて。 ・ ザドウクジラの生態について。 ・ 過去完了進行形、仮定法過去の確認及び定着。 ・ 付帯状況のwith、前置詞+関係代名詞の理解。			
		1	期末考査					
	12	8	・ Lesson 9 From Owning to Sharing		・ 所有から共有へという時代の流れを学ぶ。 ・ 形式目的語の理解させる。 ・ 比較の倍数表現の定着を図る。 ・ 分詞構文 (過去分詞) の定着を図る。			
第三学期	1	16	・ Lesson 9 上同様 ・ 比較、分詞の総復習		・ 比較の倍数表現、慣用表現を確認し、演習問題を通じ入試に通用する実力を養成する。 ・ 分詞構文の復習し、独立分詞構文など慣用表現を確認する。			
	2	18	・ Lesson 10 I Promise to Clean Up Japan Once and for All		・ 坂本龍馬の生きざまを通じ、自分自身について見つめる機会をもつ。 ・ 強調構文を理解し、使えるようにする。 ・ 仮定法を確認し、演習問題で実力を養成する。			
	3	1	学年末考査					
5		・ 仮定法の復習		・ Ifの省略、仮定法の慣用表現を確認する。演習問題を通じ、実力を養成する。				
評価の方法		・ 小テストを行い、各項目の定着を図る。 ・ 各文法項目を用い、自分の気持ちを表現できるようになる。						